



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 成友興業株式会社 上場取引所 名
コード番号 9170 URL <https://seiyukogyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細沼順人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 北垣栄一 TEL 03-3538-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期第3四半期	11,367	8.7	893	31.8	812	26.0	424	10.5
2024年9月期第3四半期	10,457	15.1	677	61.5	645	70.1	383	61.7

（注）包括利益 2025年9月期第3四半期 473百万円（23.1％） 2024年9月期第3四半期 384百万円（61.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	150.79	146.72
2024年9月期第3四半期	149.17	144.26

- （注）1. 当社は、2023年10月13日に名古屋証券取引所メイン市場に上場したため、2024年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年9月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年9月期第3四半期	16,877	5,393	31.0
2024年9月期	15,878	4,999	30.8

（参考）自己資本 2025年9月期第3四半期 5,236百万円 2024年9月期 4,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	17,000	23.9	880	6.8	830	4.2	497	3.9	176.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社武蔵野トランスポート

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期3Q	2,815,043株	2024年9月期	2,809,751株
2025年9月期3Q	300株	2024年9月期	一株
2025年9月期3Q	2,813,155株	2024年9月期3Q	2,572,828株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	6
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	6
(四半期連結損益計算書に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっています。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。

当社グループが属する建設業界・廃棄物処理業界におきましては、住宅建設はおおむね横ばいの状況を維持しており、公共投資については、底堅く推移しております。また、原材料価格の高騰等の影響により、経営環境は予測を許さない状況が続いております。

こうした状況下で、当社グループの環境事業及び建設事業において、前期に実施した3社のM&Aにより増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間では売上高は11,367,796千円（前年同期比8.7%増）となりました。営業利益は893,437千円（前年同期比31.8%増）、経常利益は812,913千円（前年同期比26.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は424,195千円（前年同期比10.5%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(環境事業)

上述の通り、前期の第4四半期に実施した成友エコプラスワン株式会社（旧株式会社エコワスプラント）並びに成友マテリアルワン株式会社（旧株式会社栄興産業）のグループ化やがれき類の平均受入処理単価が高水準で維持されたことから増収増益となりました。以上の結果、セグメント売上高6,211,616千円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益は1,147,080千円（前年同期比41.8%増）となりました。

(建設事業)

2023年9月期に受注した青梅市発注の「矢端川調整池工事（受注額約7億円）」に続き、今期は、同規模の東京都財務局発注案件の受注が好調でした。また、前期にグループ入りした木本建興株式会社の業績が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。以上の結果、売上高は4,426,161千円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は389,953千円（前年同期比24.2%増）となりました。

(環境エンジニアリング事業)

受注機会の拡大や新たな受注機会の創出を図るため、営業人員を増員したことで、売上は拡大した一方で人件費が増加した結果、売上高は403,684千円（前年同期比2.9%増）、セグメント利益は8,315千円（前年同期比84.9%減）となりました。

(その他)

警備業務において、平均受注単価が高水準で維持されている一方で、人件費が増加し増収減益となりました。以上の結果、売上高は385,899千円（前年同期比6.3%増）、セグメント利益は21,567千円（前年同期比9.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,242,079千円となり、前連結会計年度末に比べ1,088,727千円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が1,632,600千円増加、契約資産が518,480千円減少したこと等によるものであります。固定資産は9,635,774千円となり、前連結会計年度末に比べ89,606千円減少いたしました。主な要因は、繰延税金資産が71,303千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、16,877,854千円となり、前連結会計年度末に比べ999,121千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,943,824千円となり、前連結会計年度末に比べ1,387,674千円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が850,000千円、契約負債が694,457千円増加したこと等によるものであります。固定負債は5,540,282千円となり、前連結会計年度末に比べ783,213千円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が817,206千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は11,484,107千円となり、前連結会計年度末に比べ604,461千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,393,747千円となり、前連結会計年度末に比べ394,660千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が339,903千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月8日に公表いたしました通期の予想数値から変更はありません。なお、連結業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,712,105	4,344,706
受取手形及び売掛金	1,541,804	1,440,312
完成工事未収入金	81,636	88,752
契約資産	1,618,118	1,099,637
原材料及び貯蔵品	26,995	26,952
未成工事支出金	75,293	58,941
その他	106,663	190,571
貸倒引当金	△9,265	△7,795
流動資産合計	6,153,352	7,242,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,873,749	3,930,046
機械装置及び運搬具	2,808,826	3,168,198
土地	4,751,607	4,751,607
リース資産	414,582	508,132
建設仮勘定	45,360	77,901
その他	117,670	171,089
減価償却累計額	△3,568,797	△4,174,114
有形固定資産合計	8,442,999	8,432,861
無形固定資産		
のれん	939,931	939,591
その他	6,730	6,330
無形固定資産合計	946,662	945,922
投資その他の資産		
投資有価証券	7,918	10,538
繰延税金資産	133,814	62,511
その他	193,986	183,940
投資その他の資産合計	335,719	256,990
固定資産合計	9,725,381	9,635,774
資産合計	15,878,733	16,877,854

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,215,924	1,206,114
工事未払金	645,819	414,115
短期借入金	650,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	1,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	830,610	978,811
リース債務	80,246	112,278
未払法人税等	224,663	102,552
賞与引当金	135,922	80,018
契約負債	238,797	933,255
その他	533,164	606,677
流動負債合計	4,556,149	5,943,824
固定負債		
社債	621,500	605,000
長期借入金	5,106,342	4,289,135
リース債務	272,199	283,150
資産除去債務	15,757	15,850
その他	307,696	347,146
固定負債合計	6,323,496	5,540,282
負債合計	10,879,646	11,484,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,271	373,858
資本剰余金	433,671	436,258
利益剰余金	4,083,583	4,423,486
株主資本合計	4,888,526	5,233,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	2,843
その他の包括利益累計額合計	1,742	2,843
非支配株主持分	108,818	157,300
純資産合計	4,999,087	5,393,747
負債純資産合計	15,878,733	16,877,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	10,457,336	11,367,796
売上原価	8,996,323	9,256,749
売上総利益	1,461,013	2,111,046
販売費及び一般管理費	783,187	1,217,609
営業利益	677,825	893,437
営業外収益		
受取利息及び配当金	80	1,424
受取賃貸料	2,700	2,200
受取事務手数料	1,389	1,379
保険金収入	11,477	5,173
助成金収入	317	13,599
受取補償金	7,730	—
その他	4,892	1,180
営業外収益合計	28,588	24,955
営業外費用		
支払利息	44,525	79,858
上場関連費用	8,815	—
借入手数料	4,945	22,642
その他	2,752	2,979
営業外費用合計	61,037	105,480
経常利益	645,376	812,913
特別利益		
固定資産売却益	21,374	20,905
特別利益合計	21,374	20,905
特別損失		
固定資産除売却損	50,867	2,936
損害賠償金	4,000	2,710
特別損失合計	54,867	5,647
税金等調整前四半期純利益	611,883	828,171
法人税、住民税及び事業税	208,288	276,362
法人税等調整額	19,799	79,132
法人税等合計	228,087	355,494
四半期純利益	383,795	472,677
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	48,481
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,795	424,195

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	383,795	472,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,167	1,101
その他の包括利益合計	1,167	1,101
四半期包括利益	384,963	473,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384,963	425,296
非支配株主に係る四半期包括利益	—	48,481

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

当四半期連結累計期間において、株式会社武蔵野トランスポートを全株式の取得により子会社化し、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社グループにおいては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく前連結会計年度末及び当第3四半期連結会計期間末における当座貸越契約及び貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	2,150,000千円	2,550,000千円
借入実行残高	450,000	1,500,000
差引額	1,700,000	1,050,000

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
役員報酬	117,257千円	156,315千円
給料及び手当	226,987	324,994
退職給付費用	5,031	67,544
賞与引当金繰入額	12,902	16,125

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	228,552千円	294,130千円
のれんの償却額	5,703	145,202

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	環境事業	建設事業	環境エンジニアリング事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,477,164	4,297,729	392,401	10,167,295	290,041	—	10,457,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	480	17,343	—	17,824	72,967	△90,792	—
計	5,477,645	4,315,073	392,401	10,185,120	363,009	△90,792	10,457,336
セグメント利益	808,692	313,865	55,124	1,177,681	23,702	△523,558	677,825

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、建設工事現場・イベント等の警備業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△5,703千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△518,634千円及びセグメント間取引消去779千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	環境事業	建設事業	環境エンジニアリング事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,200,357	4,413,325	403,684	11,017,368	350,427	—	11,367,796
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,258	12,835	—	24,094	35,471	△59,566	—
計	6,211,616	4,426,161	403,684	11,041,462	385,899	△59,566	11,367,796
セグメント利益	1,147,080	389,953	8,315	1,545,349	21,567	△673,479	893,437

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、建設工事現場・イベント等の警備業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△145,202千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△526,686千円及びセグメント間取引消去△1,589千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。